

教科に関する調査の設問別の分析結果「書くこと」

「平成21年度 全国学力・学習状況調査」 中学校国語B 3三

【出題の趣旨】

詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を  
選び、詩と関連づけて自分の考えを書くことができるか  
どうかをみる。

【学習指導要領の内容・領域】

B 書くこと（第二学年及び第三学年）

エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を  
明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。《記述》

C 読むこと（第二学年及び第三学年）

オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集め  
て自分の表現に役立てること。《情報の活用》

三 平野さんは、次のページの【図】のようにして、詩と写真組み合わせることをしました。あなたなら、どの写真と組み合

わせますか。【写真】のAからEまでの中から一枚を選び、選んだ写真の記号を書きなさい。（どの写真を選んでもかまいま

せん。）その上で、その写真と組み合わせる理由を次の条件1から条件3の中から一つか二つを選んで書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、下線で消したり行間に書かえたりしてもかまいません。

条件1 その写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書くこと。

条件2 詩の中の言葉を使って書くこと。

条件3 解答用紙に書かれている後ろの文に続くように、六十文字以上、九十文字以内で書くこと。

参考 詩を一行以上引用したいときは、「樹は土に立っている／樹はこかまかない」のように「」をつないだり、

「樹は土に立っている 樹はこかまかない」のように空白を入れてつなぐ方法があります。

	正答率
本校	45.4%
広島県	80.8%

解答類型	1	2	3	4	5	6	9	無解答
本校の割合 (%)	45.4	0	9.0	36.4	4.5	0	4.5	0

この問題を解くために必要な力

- 示されている条件をすべて満たして書く力。
- 複数のものを関連づけて考える力。
- 理由を明確にして書く力。

誤答分析

解答類型3について

詩の中の言葉を引用する方法について示されているにも関わらず、その方法を使っていないため、詩の中の言葉を使って書いているのか、自分の言葉で書いているのかが分かりにくい。

解答類型4について

理由は書いているが、選んだ写真が他の写真に比べてどうなのかを意識して書くことができていない。

「一番合っている」と書いているだけで、具体的に写真と詩のどこが合っているのか書けていない。

解答類型5について

後に続く一文、「だから私はこの写真と組み合わせます」という文を意識せずに書いているため、文のつながりが不自然になってしまっている。

解答類型9について

問われていることも、示されている条件も理解できていない。

以上のことから、生徒のつまずきの原因として、二つのものを照らし合わせて考えることに慣れていない、理由をより説得力のある形で明確に書くことができていないということが挙げられる。

調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

全国学力・学習状況調査 中学校国語 B問題 3 三

【単元名】比較して考えることで根拠を明らかにしよう（第3学年）

調査結果からみる課題

【課題となる力】

複数のものを関連付けて考える力  
理由を明確にして書く力

【指導上の課題】

複数のものを関連付けて考えさせる指導が不十分であり、複数のものを比較して考えることに慣れていない。

「根拠を明確にする」とはどのようなことを考えさせる指導の工夫が十分ではない。

指導改善のポイント

複数のものを比較して考えることによって  
根拠を明確にする

【指導の工夫】

これまで意見文をどのようなことに意識して書いているかを振り返らせる。

意見文の例を比較させ、どのような根拠を元に書くと説得力があるのかについてまとめさせる。

複数の写真を示し、他の写真と比較してそれぞれの写真にはどのような特徴があるかを考えさせる。

根拠に注目して意見文を推敲させる。

意見文を根拠を中心に修正させる。

これまで意見文をどのようなことに意識して書いてきたかを振り返らせる。

根拠が明確である意見文と明確でない意見文の二つを比較・分析させ、どのような根拠を元に書くと説得力があるのかについてまとめさせる。

- (1) 二つの意見文が何を根拠にして書かれているかを挙げさせる。
- (2) 二つの意見文の根拠を比較し、どのような視点で書かれているかを比較検討する。その際、「主観的か客観的か」「他の写真との差異を意識しているか」について評価させる。
- (3) どのような視点で根拠を挙げるといいのかをまとめる。

原爆ドームを撮った複数の写真を示し、他の写真と比較してそれぞれの写真にどのような特徴があるかを詳しくまとめさせる。

単元の最初に書かせた意見文を根拠に注目して読ませ、自分で修正すべき点について付箋紙に書かせる。その後、生徒同士で相互に批評させ、修正すべき点を付箋紙に書かせる。

意見文を修正すべき点に気をつけて書き直させる。その後、写真を示しながら、意見文を発表させ、相互評価をさせる。

## 中学校第 3 学年 国語科学習指導案

### 単元名：比較して考えることで根拠を明らかにしよう

#### 単元について

本単元は、学習指導要領の「B書くこと」(第2学年及び第3学年)の「自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと」《記述》、「書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること」《推敲》、「書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てること」《評価・批評》を受けて設定した。

本単元では、普段どのような点に注意して意見文を書いているかを振り返らせ、その中でも特に根拠について考えさせる。どのような根拠を示して意見文を書くと言説力があるのかを理解させることがねらいである。

このねらいを達成するために、教材として、生徒の課題を踏まえて教師が自作した意見文、本などから抜粋した意見文、原爆ドームを写した複数の写真、教師自作のキャッチコピーを活用する。教師自作の意見文を比較・分析し、説得力のある根拠とはどのようなものかをまとめさせることで、比較することや客観的な視点で書くことの重要性に気付かせる。その上で、教材である複数の写真の特徴を比較してとらえさせる。「比較」と「客観性」という視点に立って、事前に自分で書いた意見文の根拠の妥当性を評価・批評させ、意見文を書き直させる。このような活動を通して、比較しながら物事を考えることの重要性と言説力のある根拠の示し方を指導する。

以上のことから、本単元は、「書くこと」について生徒の課題に対応した効果的な学習になると考える。

#### 調査結果からみる課題

誤答分析から

「平成 21 年度 全国学力・学習状況調査」中学校国語 B 3三

(1) 問題の概要

示された詩に合わせるのにふさわしい写真を五つの中から一つ選び、選んだ理由を書く。

(2) 問題の趣旨

詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、選んだ理由が分かるように詩と関連付けて自分の考えを書くことができる。

(3) 誤答分析

3三の誤答の傾向

条件に挙げられていることを満たさずに書いている。

選んだ理由は書いているが、自分が選んだ写真が他の写真と比べてどうかということを意識して書くことができていないため、理由として不十分である。

選んだ理由として「一番合っている」と書いているだけで、具体的な理由を書くことができていない。

問題文や示されている条件を読み取れていない生徒がいる。

特に の誤答が多く、誤答全体の約 60% を占めている。

指導上の課題

複数のものを関連付けて考えさせる指導が不十分であり、複数のものを比較して考えることができていない。

「根拠を明確にする」とはどういうことかを考えさせる指導の工夫が十分でない。

## 指導改善のポイント

### (1) 指導内容・指導方法について

物事を比較して考える方法と説得力のある根拠の示し方を身に付けさせるために、次のステップを踏んで指導する。

		指導内容・指導方法
1	課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を書かせる。</li> <li>・これまでの学習を振り返り、意見文をどのようなことに意識して書いていたかを振り返らせる。(根拠に注目させる)</li> </ul>
2	課題の解決 (本時1/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような根拠を挙げて書くと説得力があるかを考えさせるために、「主観的か客観的か」「自分が選んだ写真と他の写真との違いを意識しているか」について二つの意見文の例を比較させる。</li> <li>「主観的」と「客観的」の意味について確認する。</li> <li>どちらの意見文が説得力があるか、生徒に判断させる。</li> <li>課題がある方の意見文を、「客観的」な根拠、他との「比較」を意識した根拠を用いて書き直させる。</li> </ul>
3	定着の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に自分が書いた意見文を見直し、自分が挙げていた根拠の「客観性」と「比較を用いているか」を判定させる。</li> <li>・自分が選んだ写真は、他の写真と比較してどのような特徴があるかを詳しくまとめさせる。</li> <li>・客観的な根拠として自分が選んだ写真ではどのようなことが書けるか検討させる。</li> </ul>
4	定着の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正すべき点に注意させ、説得力のある根拠を用いた意見文に書き直させる。</li> <li>・写真を示しながら意見文を発表させ、相互評価をさせる。</li> </ul>

### (2) 「ことばの教育」との関連

「言語技術」を活用した指導を通して、生徒に付けたい力は次の通りである。

意見の根拠となっているものを読み取る場面

..... 事実と意見を区別して読み取る力

どちらの意見文が説得力があるかその理由を説明する場面

..... 具体的な理由・根拠を明らかにして意見を述べる力

他と比較して写真の特徴を考える場面

..... テキストを比較して分析する力

説得力のある文章を書く場面

..... 具体的な理由・根拠を明らかにして意見を書く力

## 単元の目標

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を積極的に振り返ろうとする。</li> <li>・自分の意見文の根拠を説得力のあるものにしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のある根拠について理解して書くことができる。</li> <li>・自分の文章の根拠に注目して読み返し、より説得力のある文章にすることができる。</li> <li>・文章を読み、根拠に注目して評価・批評することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文の中から根拠となっている事実・意見を読み取ることができる。</li> <li>・複数のものを比較し、それぞれの特徴をとらえることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文として適切な文章の展開について理解することができる。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

(全5時間)

次	学習内容(時数)	評 価					評価方法
		関	書	読	言	評価規準	
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を書く。</li> <li>・これまでの学習を振り返りどんなことに意識して意見文を書いていたかを確認する。 (1)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて意見文を書こうとしている。</li> <li>・これまで自分がどんなことに意識して意見文を書いていたかを振り返ろうとしている。</li> </ul>	観察 ワークシート
二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの意見文の根拠について「主観的か客観的か」「自分が選んだ写真と他の写真との違いを意識しているかどうか」を判断する。</li> <li>・どちらの意見文がより説得力があるかを考える。</li> <li>・説得力のある根拠とはどういうものかまとめる。</li> <li>・課題がある意見文を説得力のある形に書き直す。 (2)【本時1/2】</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠に注目して意見文を評価・批評している。</li> <li>・説得力のある根拠とはどういうものであるかをまとめている。</li> <li>説得力のある根拠の条件</li> <li>・根拠が主観的でなく客観的である。</li> <li>・複数の選択肢がある場合、選ばなかった選択肢との差異が分かるように根拠を示している。</li> <li>・客観と比較を意識して根拠を書くことができている。</li> </ul>	ワークシート プレゼンシート
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に書いた意見文で、「客観的」な根拠を使っているか、「比較」して書いているかを判定する。</li> <li>・他の写真を比較し、自分が選んだ写真の特徴をとらえる。</li> <li>・客観的な根拠を考える。 (1)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を読み返し、根拠に説得力があるかを検討し、「客観的」か、「比較」ができているか判定している。</li> <li>・複数の写真を比較し、それぞれの特徴を詳しくとらえることができる。</li> <li>・情報を元に、自分が選んだ写真に関連する客観性のある根拠を挙げることができる。</li> </ul>	ワークシート
四	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正すべき点に注意して書き直す。</li> <li>・写真を示しながら意見文を発表し、相互評価する。 (1)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく説得力のある根拠を示しながら意見文を書いている。</li> <li>・意見文の根拠に説得力があるかを評価・批評している。</li> <li>・意見文として適切な文章の展開について理解している。</li> </ul>	ワークシート

## 本時の学習

(1) 本時の目標

二つの意見文の根拠について比較・分析し、説得力のある根拠とはどのようなものであるかをとらえる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<b>1 本時の目標を確認する。</b>			
前時の振り返りをする。			
二つの意見文を比較して、説得力のある根拠とはどのようなものであるか考えよう。			
<b>2 意見文の内容を確認し、どちらが説得力があるか判断する。</b>			
写真を見て、課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこを写した写真かを確認し、4つの写真の共通点を考える。</li> </ul>		
「地域をアピールするのにふさわしい写真を選ぶ」という課題について、写真を選んだ理由について書かれたAとBの意見文があります。一つは根拠に説得力がある意見文、もう一つは課題がある意見文です。しっかり読み、どちらの根拠に説得力があるか判断してください。			
二つの意見文を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなテーマで書かれた文であるかを示す。</li> <li>・よい意見文と課題のある意見文を用意する。</li> </ul>		
どちらが説得力があると思うか立場を決める。			
<b>3 二つの意見文の根拠を比較・分析する。</b>			
なぜ自分が選んだ意見文の方が説得力があるように感じるのか理由を考えましょう。			
A, Bの違いを考え、選んだ理由を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章のどの部分がいいと思ったのか、具体的に分かりやすく書く。</li> <li>・一方に比べてどうか、ということ意識させる。</li> </ul>	どちらがいいか、理由を明確にして書いている。	ワークシート
<b>4 どのような根拠を元に意見を述べるのがいいのか整理する。</b>			
説得力がある意見文 = Aの意見文 なぜAの意見文の方が説得力があるのか、その理由を考えましょう。 Bの根拠と比較してAがどうか、ということ意識して考えましょう。			
Aの方がなぜ説得力があるのかを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bと比べてどうかということ意識させる。</li> <li>・具体的にどの部分がどうなのかを考えさせる。</li> </ul>	説得力のある根拠の特徴をとらえている。	プレゼンシート

<p>Aの方が説得力があるのはなぜか、班ごとで話し合ったことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見をまとめ、説得力がある方の意見文では、「客観的な根拠」「他の写真との違いを意識している根拠」が使われていることに気づかせる。</li> <li>・「客観的」と「主観的」の意味について確認させる。</li> <li>・前時に書かせた「何に気をつけて意見文の理由を書いているか」を紹介し、意識づけにさせる。</li> </ul>		
<p><b>5 次時の学習内容を確認する。</b></p>			
<p>次時以降、前時に書いた文章をもとに、より説得力のある根拠を書けるようにしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のある根拠の条件を再度確認する。</li> </ul>		

## 検 証

### 検証の方法

検証問題 単元の初めと終わりに実施。以下の2つの観点で検証し、生徒の文章から判断する。

他の写真との差異が分かるような根拠を書いているか。  
根拠が客観的であるか。

次の4つの写真を比べて、「世界の平和を見つめる街、ヒロシマ」というコピーにふさわしい写真を選びなさい。そして、その写真を選んだ理由を150字以上200字以内で説明しなさい。



A 虹色リングと原爆ドーム



B 原爆ドーム



C 原爆慰霊碑と原爆ドーム



D 灯籠流しと原爆ドーム

〔検証問題の写真の出典〕

A 写真提供：中国新聞社 2009年（平成21年）6月8日朝刊

B 写真提供：<http://www.arch-hiroshima.net>

## 検証結果

	他の写真との差異が分かるような根拠	根拠が主観的でなく客観的である
指導前	50.0%（24名中12名）	45.8%（24名中11名）
指導後	87.5%（24名中21名）	75.0%（24名中18名）

### 【指導前と指導後の文章の比較】

生徒A（Dの写真を選択）

#### 指導前

まず、この写真を選んだ理由は、原爆で犠牲になった人達の死をむだにせず、これから平和な世界にしていこうという感じがするからです。それは、原爆ドームの横の川で灯籠流しをしているところから感じられました。灯籠には、それを流している人たちの平和への思いが詰まっていると思うので、私はDの写真がキャッチコピーにふさわしいと思います。

#### 指導後

まず、この写真を選んだ理由は、灯籠流しはお盆に全国各地で行われますが、八月六日にしているのは広島だけだからです。灯籠流しは、「慰霊」と「ピースメッセージ」の両方の意味を持っています。また、この写真は他と違って、街も映っています。「世界の平和を見つめる街、ヒロシマ」というキャッチコピーの「平和を見つめる街」という部分にぴったり合っています。だから私はDの写真にしました。

生徒B（Cの写真を選択）

#### 指導前

僕はこのキャッチコピーならCの写真が良いと思います。理由は、原爆ドームは広島に原爆が落とされたという証拠でもあるし、この日本で一番平和を願っていると行っても過言ではないと思ったからです。犠牲になった人々と共に世界の平和を見つめていくということがよく分かるし、原爆慰霊碑がいっしょに映っているので、このCの写真を選びました。

#### 指導後

僕はCの写真を選びます。理由は、この写真の石碑には、「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」という文字で平和を訴えかけており、他の写真には見られない説得力があると思ったからです。他の写真も原爆ドームが映っており、平和を訴えていると考えることもできますが、具体的に何を訴えているのかは分かりません。それに比べてこのCの写真には原爆ドームも平和の灯も映っており、メッセージも文字で書いてあるため分かりやすいです。

## 【指導前と指導後のアンケート比較】

### 指導前

自分の意見を裏付ける理由を書く時に、気をつけていることは何ですか？どんな理由を書こうとしていますか？（生徒数24名・複数回答あり）

- ・ 自分の意見とは違う方との比較を書く 45.8%（11名）
- ・ 相手に分かりやすいように書く 37.5%（9名）
- ・ 具体的な理由を書く 12.5%（3名）
- ・ 理由をできるだけ多く書く 4.2%（1名）
- ・ 一般的なことを書く 4.2%（1名）

### 指導後

自分の意見を裏付ける理由を書く時に、何に気をつけたらいいと思いますか？どんな理由を書くといいと思いますか？（生徒数24名・複数回答あり）

- ・ 比較して書く 45.8%（11名）
- ・ 客観的な理由を書く 45.8%（11名）
- ・ 相手を納得させられる実体があれば書く 4.2%（1名）
- ・ 本当のことを書く 4.2%（1名）
- ・ 他の人みんなが思っている感じのことを書く 4.2%（1名）
- ・ 体験談など入れて具体的に書く 12.5%（3名）
- ・ 分かりやすく相手を納得させられる理由を書く 20.8%（5名）
- ・ 自分が思う一番の理由を書く 8.3%（2名）
- ・ 断定的に述べる 4.2%（1名）